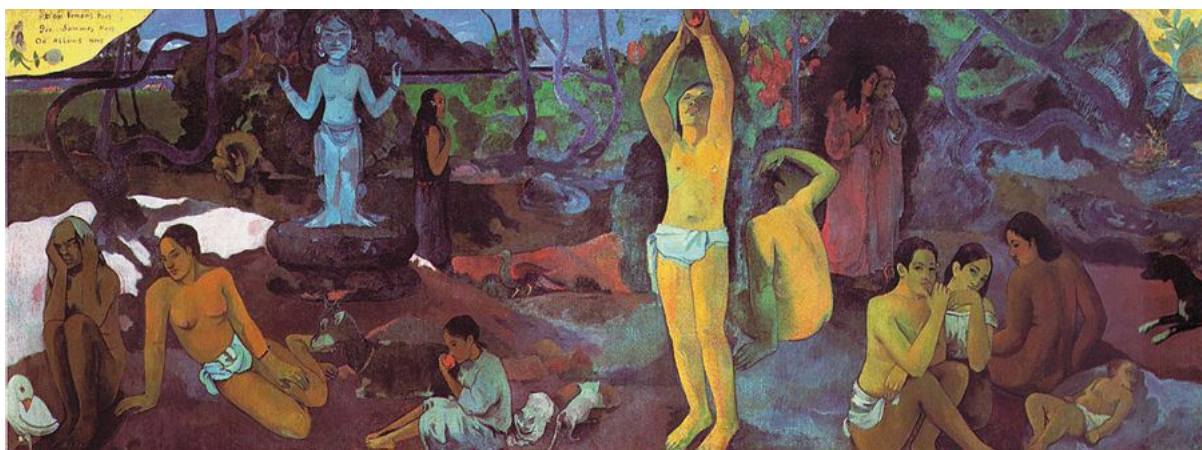


ISSN 1880-1900

宗教学研究室紀要

THE ANNUAL REPORT ON PHILOSOPHY OF RELIGION



2009 vol.6

京都大学大学院文学研究科 宗教学専修 編

第6号（2009年） 目次

時間と空間の圧縮の経験をめぐって

—ハイデッガーの「近さ」とアーレントの「人類・地球」—

氣多雅子 (3)

運動の享受——九鬼周造『「いき」の構造』における恋愛論

松本直樹 (24)

「時代と個人の精神的教養形成の転換点」としてのヤコービ

——ヘーゲル哲学における「直接知」論の展開

石川和宣 (54)

宗教学研究室紀要編集委員

氣多雅子	京都大学大学院文学研究科 教授
杉村靖彦	京都大学大学院文学研究科 准教授
秋富克哉	京都工芸繊維大学大学院 教授

——第6号執筆者紹介——

氣多雅子	京都大学大学院文学研究科 教授
松本直樹	京都府立医科大学 非常勤講師
石川和宣	京都大学大学院文学研究科 博士課程

****編集後記****

「宗教学研究室紀要」第6号を発行する運びとなりました。今号は、論文数こそ3本とやや少ないながら、執筆者の方々それぞれのご関心に沿った、量・質ともに充実した論考を掲載することができました。論文をお寄せになった皆さまに感謝するとともに、次号においてもまた豊かな思索の場が拓かれることを祈る次第です。

(笠木文記)

宗教学研究室紀要 第6号 (京都大学大学院文学研究科 宗教学専修 編)

2009年12月22日発行

Articles

Um die Erfahrung der Verkürzung von Zeit und Raum

— Die „Nähe“ Heideggers und die „Menschheit“ und die „Erde“ H. Arendts —

KETA Masako 3

Genuss der Bewegung - Von Kuki Shūzōs Sicht der Liebe in *Die Struktur von iki*

MATSUMOTO Naoki 24

Jacobi, ein Wendepunkt der geistigen Bildung der Zeit sowie der Individuen.

Die Entwicklung der Lehre vom unmittelbaren Wissen in der Philosophie Hegels

ISHIKAWA Kazunobu 54